



モンベルと 包括協定を締結

有田川町と株式会社モンベル（代表取締役：辰野勇）は、昨年12月15日付けで「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。

有田川町では絵本によるまちづくりや、住民・民間事業者との協働による旧田殿保育所のリノベーション事業、アメリカのポートランド市との協働による住民主体のまちづくりなど、いわゆる地方創生に関する取り組みを進めています。また、地球に優しいエコのまちを目指し、二川ダムを利用した小水力発電所など再生可能エネルギーの導入にも積極的に取り組んでいます。

一方、当町の主産業である農業分野では後継者不足の問題が依然としてあり、山間地域における過疎化・高齢化も歯止めがきかない状況にあります。このため、環境保全やエコ、防災、農林水産業の活性化、自然体験、こどもたちの育成などを基本理念とするモンベルと連携することにより、有田川町全体の地域活性化を目指します。

今後、両者間の連携を深めながら、まずは有田川町の豊かな自然を活かした体験や観光振興について焦点を当て、地域活性化に向け共に取り組みを進めていきます。

地球にやさしいエコな暮らしを考える “まちの懇談会”



1月21日（日）、金屋文化保健センターで開催した「有田川エコフェスタ vol.2」。今年は町内在住・出身者を招き、エコな暮らし方事例紹介を、さらに和歌山大学湯崎真梨子客員教授を交えたトークセッションを行いました。

当日は、子ども服リユースバザーや読み聞かせサークル“おやじの会”との共催で行った地球に優しいおはなし会など、いくつものエコブースが出展され、にぎわいをみせていました。

有田川町消防団 出初式を挙行

1月10日（水）、明恵の里スポーツ公園で出初式を挙行しました。日々住民の安全・安心な暮らしを担っている消防団員は、規律正しい行動で服装点検、機械器具・車両点検を実施。また、分列行進では保江宗治消防団長を先頭に、勇壮な消防団の姿を披露しました。

